令和元年度事務事業実績評価表

✓ TH.	儿牛皮芋奶芋	未大	浸ってル	418								
	業概要					課名	長寿支援課	事業No.	91			
						会計	一般会計					
	事務事業名			介護者支援	事業	事業区分	政策	実施区分	継続			
						開始		終了				
	主要区分	ì	主	記号	計画等名称							
	戦略計画											
根	分野別計画			高齢者福祉計画・介護保険事業計画								
拠												
	法令·例規等 対象 対象 意义 対象			飯田市在宅重度障害者等家庭介護者疲労回復事業実施要綱								
				飯田市在宅重度心身障害者等介護支援金支給要綱								
				飯田市緊急宿泊支援事業実施要項								
			象	要介護度3・4・5の高齢者を在宅で介護している介護者(緊急宿泊事業については認定を受けている方)								
=			図	主たる介護者の介護による疲労を解消し在宅介護の負担軽減								

2 重柴山交

2 事業内容													
			取組内容			経費の内容					事業費	(千円)	
	1 介護	蔓をしている方(の疲労の解消を図り	7	在宅介護者疲労回復事業費						520		
	(1) 介	護者慰労短期入	、所事業		1	介護者慰労短期入所事業費						3,013	
	(2) マ	ッサージ券支給	事業		ā	夏 具洗濯乾	燥サービ	ス事業費				516	
	(3) 入	浴券支給事業			<u> </u>	訪問理美容サービス事業費						167	
	(4) 緊	急宿泊支援事業	Ę		<u> </u>	重度要介護者等介護支援金						15,930	
1年度	2 介護を受ける方の衛生状態を良好に保ち、介護する方の 緊急宿泊支援事業費										60		
取組	負担軽源	載を図りました。	1			がある。 が表現している。 が表現している。 が表現している。 が表現している。 が表現している。 が表現している。 が表現している。 が表現している。 が表現している。 が表現している。 が表現している。 がある。 がある。 のののでは、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、また					125		
	(1) 寝:	具選択乾燥サー	・ビス事業			月末中・印刷製本員 通信運搬費						132	
	(2) 訪問理美容サービス事業 週間運搬員											132	
	3 支給要件に該当する介護者の方へ在宅介護支援金を支給												
	しました	-0		-	フの仏の奴隶					0			
				その他の経費 29年度 平成30年度			令和元年度		0 令和2年度				
	指	標名 (数値で	表せる活動量)	単位									
	^ ** * P	+ >>	# 1 m ch #6		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
		対短期入所事		人	180	185	200	242	200	231			
		- ジ・入浴券利		<u> </u>	295	245	295	235	295	251			
活動指標		乾燥サービス		<u> </u>	140	147	140	136	140	121			
7,42,334,130		容サービス利	用実人数	人	90	82	90	61	90	60			
		援金支給者数		人	198	171	198	173	198	177			
	緊急宿泊	支援事業利用!	実人数	人	20	29	20	10	20	5			
	-	予算額	21,609			特定財源内訳及び補足事項							
	;	決算額	20,463	県)緊急宿泊	緊急宿泊支援事業補助金(1/2)								
1年度	財源の 状況	国庫支出金											
決算		県支出金	30										
(千円)		地方債											
		その他	0										
		一般財源	t源 20,433										
	11/ /- 1## -15	ナスマ質料ロ											

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	3	1	4	13	6	200	60	緊急宿泊支援事業費
2	1	3	1	4	14	17	21,409	20,403	在宅介護者支援事業費
3									
4									
5									
6									
7									
振返	振返り課題認識 ・利用者が減少している事業がありますが、在宅福祉サービスの制度の周知を行い、介護者の負担軽減を図っていきます。 ・介護度の高い者の在宅生活を支える上で、真に必要なサービス内容の検討を進める必要があります。								
	上記の課題解決 のための有効策 いきます。								
次年度に向けて の取り組み ・第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定に合わせサービス内容等必要な検討を進めます。							わせサービス内容等必要な検討を進めます。		